

な、何ですか
この者たちは…
触手が絡みついで…

いくら動きを封じられても
私にあなた方の
攻撃など効くわけが…

ギク

ガク

やっ

や、やだ…
足を広げないで
こんなはしたない格好…っ

あっ

ギク

ギク

やっやめ...
そんなとこ引ッ張っっちゃ...

だめですっそこは...
シスターにとって大事な...
なぞっっちゃだめですからあ...

あぁっ

んんん

ギョウウ

やっ

やっ

(な、なんでこの者たち...
機械のくせに
私の身体の敏感な部分を狙って...)

やあやあ

そ、そんな…
ユステイアナ聖徒会の礼装が…
な、なんてことを…

ビィィィ

あ、あなた方まさか…
だめですっ
そんなこと…
許されませんよ…

ぞか…

やあやあ

(み、見られてる…
私のあそこ…
お犯そうとしているの…!!
私の純潔を…!!)

ほろ

グィィィ

ギィィ

ギィィ

だめっだめええええ
入れないでっ
こんな不浄な！

いっかあああ

ズッ
ウッ

フッ
フッ

ズッ

ズッ
ン

お、お許しください……
お許しください……

(どんだん奥に入っ……
私の初めてがこんな機械なんて……
せめて……せめて普通に……)



やあああつ
動かないでえつ
私の中で暴れてる…っ

ち、乳首…っ
クリクリしちゃう
だめえ…っ

いやっ
いやですっ
機械相手なんてえっ

(お、犯されてる…っ
機械のくせに私の反応を見て
的確に弱いとこ責めて
楽しんでるとでもいうのですか…!!)



う、嘘っ
何か出て...

私の中に
変なもの
流し込まないで...っ
やめて
やめて
ください...

やだ

やだ

やだ



な、何この...
ドロドロした液体...
わ、私の身体が熱く...

ぐいっ♡

ガッ

はあ

はあ

お、お願いもう止め...
わ、私さっき
イッたばかりで...

いっやあ...
機械チンポ
もういやあああっ

ガッ

グッ

ドロ...



あああああつ
そ、そんなに違っ……
おし、お尻でなんて……

あああああ

ブッ
グッ

グッ
グッ……

あああ

あああ

ブッ
グッ

(なんでそんな
不浄な場所に……
わ私……)
お尻で感じたりなんか……)

は、入ってくる……
前と後ろからどんとん奥まで……
機械チンポが……
ゴリニツゴリニツてえ……)



(こ、壊れる
こんなの
壊されちゃうぅ...)

(私の身体...
オモチャみたいに
扱われてる...)

(でもなんで...
身体がとんとん
熱くなってるの...?)

(この液体のせ...?)



(で出てる…)
また私の中に…)

(機械チンポ射精してる…
前からも後ろからも
注がれちゃつてるう…)

(だダメ…
またイッちゃ…)

(おかしくなる…
おかしくなっちゃうう…)

あゝ

お、お許してください…
もう…イキすぎて
イクの止まらなくなってるの…♡

ガァ

あゝ

わ、私なんです…
おっぱいから
母乳なんか出て…

んぐ

あゝ

んぐ

あゝ

ゴホッ

どんどん
集まってきたる…♡

お、堕ちる…
機械チンポに
私…堕ちなれちゃう…♡

ガァ

ガァ

ゴロオ…♡





























言わん
いっすやなら!



言わん

いっすぢやなら!



言わん

こっすちやならい！